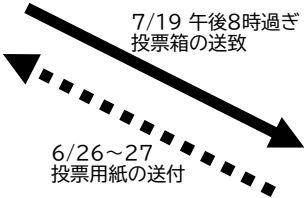


大田区における投・開票の流れ

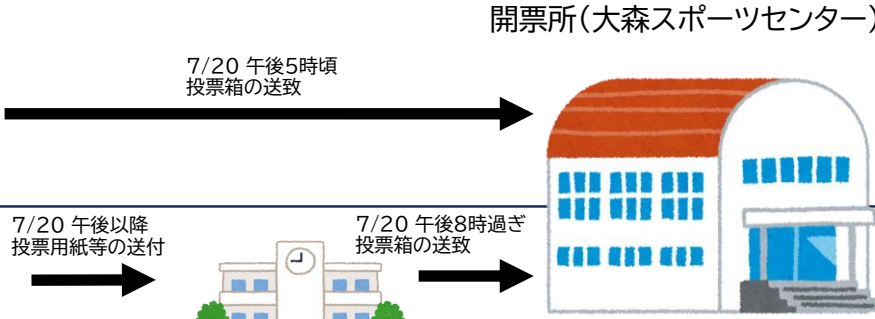
大田区における投票の流れ

期日前投票

本庁舎: 7月4日から19日まで
特別出張所: 7月13日から19日まで
投票時間: 午前8時30分から午後8時まで



.....▶ 投票前の投票用紙
————▶ 投票済の投票用紙



不在者投票

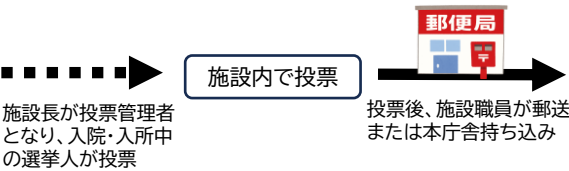
受付期間: 7月4日から20日まで

不在者投票者



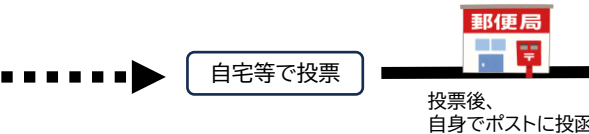
入院・入所中

指定施設等



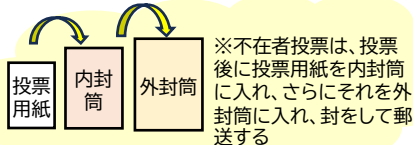
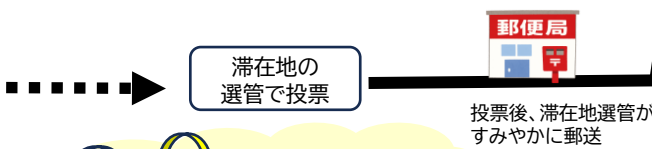
郵便等投票 証明書交付者

郵便等投票

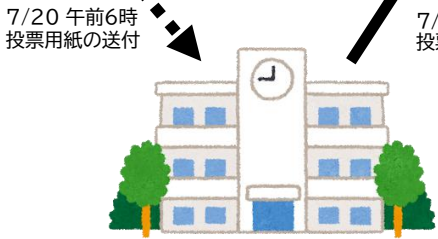


区外に滞在中

滞在地投票

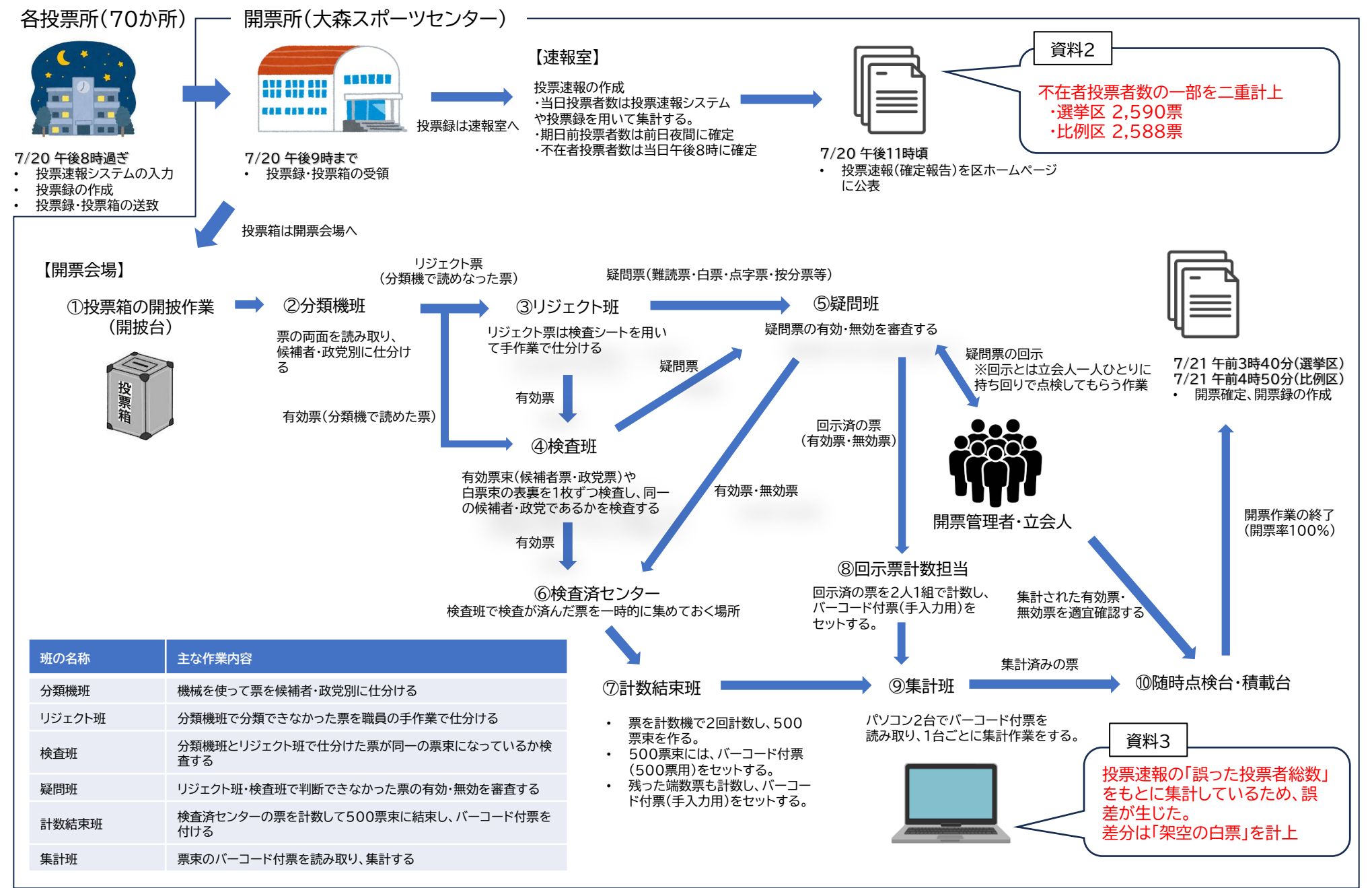


当日投票



当日投票所: 7月20日
投票時間: 午前7時から午後8時まで

大田区における開票の流れ



投票速報における不在者投票者数の二重計上

選挙全体の流れ

1

公示・告示

選挙の実施が正式に周知され、候補者の届出受付が開始

2

期日前投票・不在者投票

期日前投票とは、選挙当日に投票できない有権者が事前に投票できる制度

不在者投票とは、選挙当日または期日前投票期間に投票できない有権者が、滞在先や指定施設等で投票できる制度

3

選挙当日・投票速報

投票日に各投票所の投票状況を集計し、途中経過を報告

4

投票者数確定

投票終了後、最終的な投票者数を集計・確定

5

開票

投票箱を開け、投票された票を候補者ごとの得票数を集計

6

結果確定

開票結果に基づき、当選者が決定

選挙当日・投票速報

期日前投票・不在者投票・在外投票と併せて各投票所の投票状況を投票速報システムで集計し、中間報告(途中経過)と確定報告(集計完了後)を行う

【速報担当】

主担当は選管職員1名、期日前投票担当と兼任。
当日は他部署から応援職員として、3名配置追加配置。

【不在者投票担当】

選管職員2名配置。

【庶務係長】

各投票所に1名配置される他部署の係長級職員。

1. 前日準備 (期日前投票終了後 午後10時～)

【速報担当@本庁舎】

- ①期日前・不在者投票システムから
・期日前投票者数
・当日有権者数
・**19日までの不在者投票者受付数**
をCSVファイルで出力
- ②CSVを投票速報システムにコピー入力

2. 投票状況集計 (午前9時、午後0,3,6時の計4回)

【庶務係長@各投票所】

貸与されたスマホで投票速報システムに投票者数を入力(選挙区のみ)

【速報担当@開票所】

スマホ入力された投票者数が投票速報システムに反映。全箇所の入力を確認し、投票速報システムから速報結果(Excel)を出力

3. 不在者投票数集計 (午後7時頃)

【不在者投票担当@本庁舎】

- ①**全不在者投票者受付数データ**(70投票区分)
を期日前・不在者投票システムからPDF抽出
- ②PDFデータを速報担当に送信

【速報担当@開票所】

不在者投票担当から受信したPDFを読み上げて、確定報告用Excelに不在者投票者数を手入力

◎誤計上発生◎

4. 投票状況集計 (午後8時 最終回)

【庶務係長@各投票所】

貸与されたスマホで投票速報システムに投票者数と有権者数を入力(選挙区及び比例区)

【速報担当@開票所】

スマホ入力された投票者数が投票速報システムに反映されることを監視

5. 投票者数確定報告 (午後9時～)

【速報担当@開票所】

- ①投票録が各投票所から送致されたら、以下の2点が一致しているか確認する。
 - ・投票速報システムで集計した投票者数
 - ・各投票所の投票録の投票者数
- ②投票速報システムから投票者数確定報告(Excel)を出力し、区のHPIに掲示
- ③同時に、東京都選管に投票者数とその内訳を報告(東京都選管システム)

3.不在者投票者数集計

【誤計上詳細 ※選挙区の場合】

本来の計算方法

①19日までの不在者投票者受付数(2,590人)
+
②20日当日受付数(279人)
+
④在外投票者数(360人)

計:3,229人

誤った計算方法

①19日までの不在者投票者受付数(2,590人)
+
③20日までの不在者投票者受付数(2,869人)
+
④在外投票者数(360人)
【①2,590+②279】

計:5,819人

2,590人増

※19日までの
不在者投票者受付数が二重計上

二重計上の発生の流れ

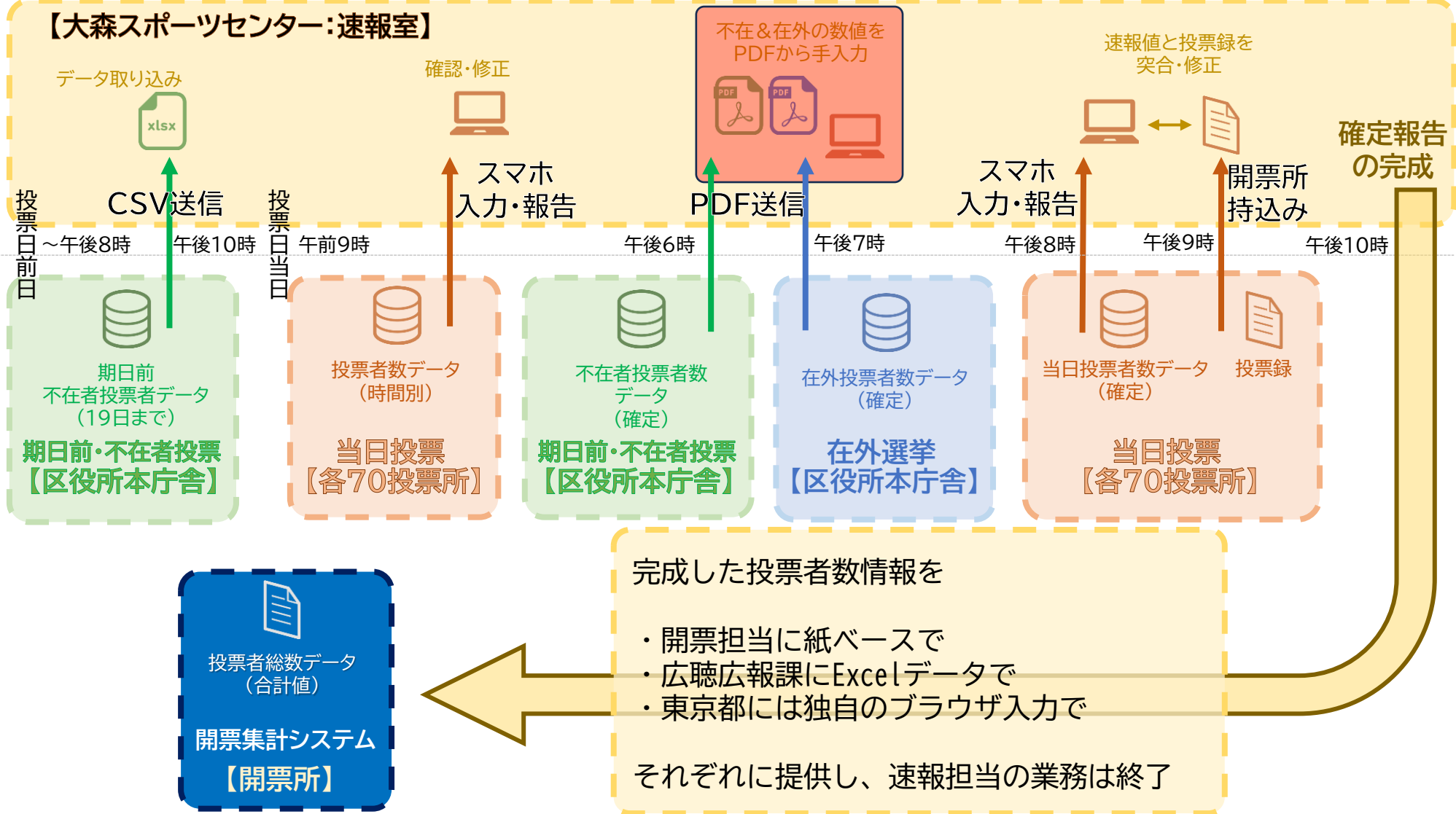
1. 投票速報担当者が
「20日**までの**不在者投票者受付数」を
「20日**当日受付分の**不在者投票者受付数」と認識
2. 被りのあるデータを足し合わせてしまった
(①+③+④)

投票速報における不在者投票者数の二重計上

システム編成の現状

投票速報を確定させるために「投票速報」「期日前・不在者投票」「当日投票」「在外選挙」の合計4つのシステムを使用しており、データ共有方法がCSV・PDF・スマホ入力・紙ベース等多岐にわたり、ミスが発生する温床がある。

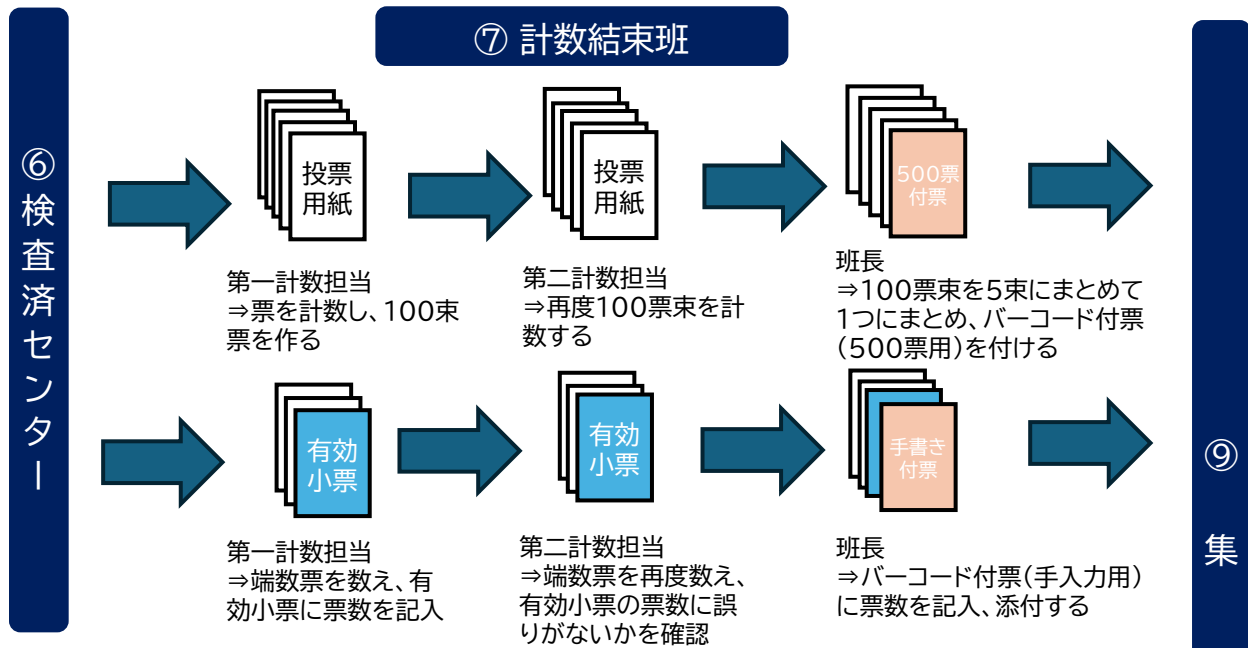
投票速報



開票所における票の集計の流れ

開票所における票の集計の流れ ①本来の業務フロー(※票数はイメージ)

I 検査済センターの票の集計



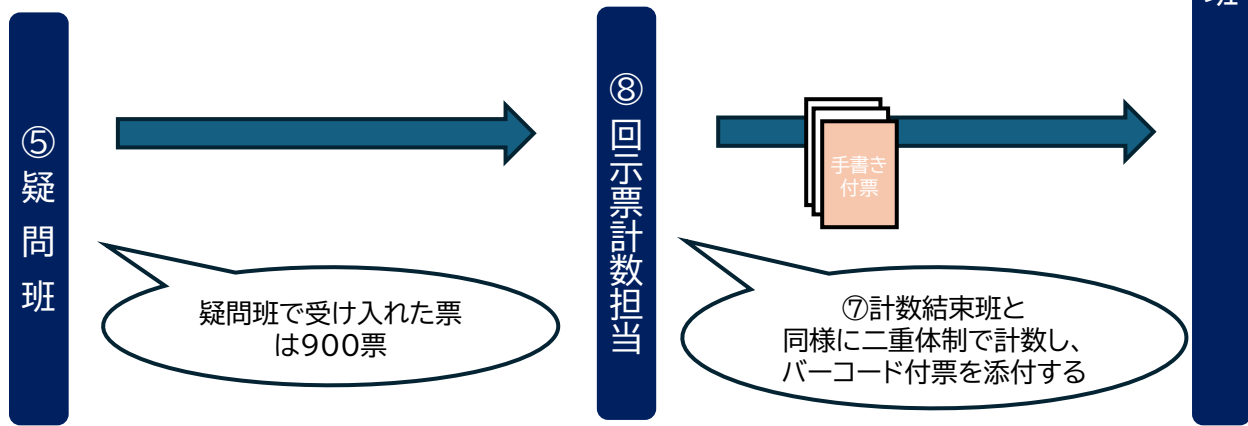
II 開票集計システムで検査済センターの票を集計

- ・付票のバーコード(500票用)を読み込むと、候補者・政党ごとに集計されていく。付票のバーコード(手入力用)を読み込む場合は、担当者が付票に記入された数値を直接システムに入力する。
- ・端末は2台あり、いずれもネットワークには接続していない。
- ・付票のバーコードを読み込む作業は、それぞれの端末で行う。(同じ作業をそれぞれの端末で行う。)

開票集計システムでは、以下のように表示される。

【投票者総数】	20,000人
【集計した票数】	19,000票
【残数】	1,000票

III 検査済センターの票の集計後



IV 開票集計システムで疑問票の票を集計

本選挙における全ての票が集計され、投票者総数より集計した票数が少なかった場合、差分は持ち帰り不足票数として計上する。

※持ち帰り不足票：投票用紙は交付したが、投票箱には投函されず、持ち帰られてしまったと推測される票

開票集計システムでは、以下のように表示される。

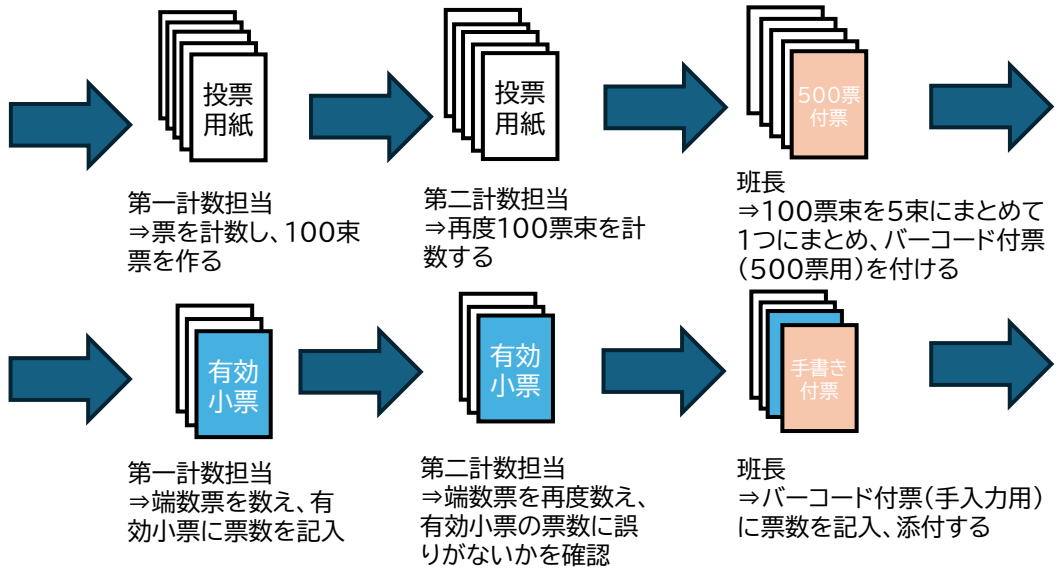
【投票者総数】	20,000人
【集計した票数】	19,900票
【持ち帰り不足票数】	100票

開票所における票の集計の流れ ②本選挙の事例（※票数はイメージ）

I 検査済センターの票の集計 7/20 午後10時50分～ 7/21 午前1時45分

⑥ 検査済センター

⑦ 計数結束班



II 開票集計システムで検査済センターの票を集計

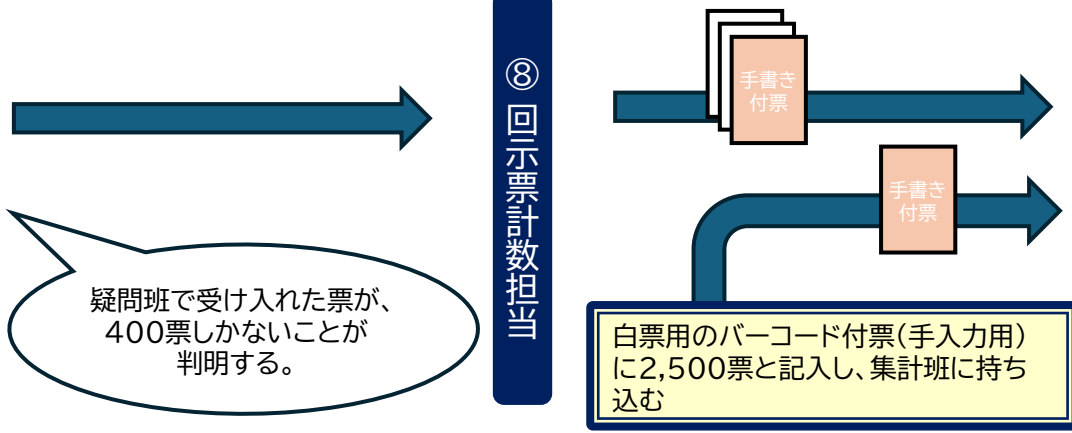
- ・付票のバーコード(500票用)を読み込むと、候補者・政党ごとに集計されていく。付票のバーコード(手入力用)を読み込む場合は、担当者が付票に記入された数値を直接システムに入力する。
- ・端末は2台あり、いずれもネットワークには接続していない。
- ・付票のバーコードを読み込む作業は、それぞれの端末で行う。(同じ作業をそれぞれの端末で行う。)

開票集計システムでは、以下のように表示される。	
【投票者総数】	20,000人
【集計した票数】	17,000票
【残数】	3,000票

III 検査済センターの票の集計後 7/21 午前2時00分～

⑤ 疑問班

⑧ 回示票計数担当



IV 開票集計システムで疑問班の票を集計 7/21 午前3時40分

本選挙における全ての票が集計され、投票者総数より集計した票数が少なかった場合、差分は持ち帰り不足票数として計上する。

本来は、開票集計システムでは、以下のように表示されるが、	
【投票者総数】	20,000人
【集計した票数】	17,400票
【持ち帰り不足票数】	2,600票
持ち帰り不足票数が多すぎると不自然であるため、白票(無効票)を計上してしまった。	
【投票者総数】	20,000人
【集計した票数】	19,900票
【持ち帰り不足票数】	100票

⑨ 集計班